

高校生によるエネルギー事情研修会 実施報告書

平成28年3月31日

1. 研修参加者

[高校生参加者 6名]

青森県立五所川原農林高等学校 斗 澤 佳 浩

青森県立三本木高等学校 吉 村 溪 冴

青森県立青森高等学校 渡 辺 萌

青森県立青森南高等学校 赤 田 萌 恵

青森県立弘前工業高等学校 北 畠 聡 美

青森県立八戸北高等学校 横 濱 愛 莉

2. 目的

◆ 国内外のエネルギー事情を学び、資源の乏しい日本で、将来のエネルギーはどうあるべきか、その中で青森県はどんな役割を果たすのが望ましいか、について考える

◎ 発表や議論の場を通じて、「自分の意見を述べる力」を身につける

- 国内のエネルギー施設の視察&自主研修
- 高校生同士によるエネルギー問題に関するプレゼンテーション&ディスカッションの実施
- 高校生の仲間たちや随行者との9日間の集団行動

3. 全体スケジュール

- (1) 募集案内 8月20日 県内高校に参加募集
9月24日 応募締切
- (2) 当選通知 10月 8日 当選発表 32校47名の応募者より
6名決定
- (3) 事前研修会① 11月 8日～9日 (むつ市ほか)
東北電力(株)東通原子力発電所および、
日本原燃(株)原子燃料サイクル施設他を見学
- (4) 高校生保護者説明会
12月 6日 当初フランスやスウェーデンでの
研修を計画していたが、11月に発生
したフランスでの同時多発テロを受
け、海外への渡航を中止して国内の
エネルギー施設の見学に研修行程を
見直した
- (4) 事前研修会② 1月 7日～8日 (青森市)
- (5) 国内研修会 1月25日～2月2日 (9日間)
- (6) 座談会 3月 4日

4. 国内研修行程(その1)

	月日	行 程	実 施 事 項
1	1/25 (月)	青森空港⇒名古屋小牧空港⇒ 高速増殖炉もんじゅ⇒神戸(泊)	● 「高速増殖炉もんじゅ」見学
2	1/26 (火)	三菱重工業神戸造船所⇒ 北九州(泊)	● 「国際熱核融合実験炉(ITER)の部品製造 現場」見学
3	1/27 (水)	北九州環境モデル都市(自主研修) ⇒北九州(泊)	● 「環境ミュージアム」等見学 ● 「自主研修」の実施
4	1/28 (木)	自主研修成果の整理 ⇒薩摩川内(泊)	● 「自主研修」の実施
5	1/29 (金)	川内原子力発電所⇒鹿児島空港⇒ 那覇空港⇒那覇(泊)	● 「川内原子力発電所」見学
6	1/30 (土)	那覇⇒名護(泊)	● 「那覇市内」、「美ら海水族館」観光
7	1/31 (日)	名護⇒沖縄やんばる海水揚水発電所 ⇒那覇空港⇒羽田空港⇒東京(泊)	● 「沖縄やんばる揚水海水発電所」見学

4. 国内研修行程(その2)

	月日	行 程	実 施 事 項
8	2/1 (月)	資源エネルギー庁⇒海外電力調査会 ⇒東京(泊)	●「資源エネルギー庁」及び「海外電力調査会」で 国内外のエネルギー事情の研修を受講
9	2/2 (火)	スウェーデン大使館⇒フランス大使館 ⇒東京駅⇒八戸駅、新青森駅	●スウェーデン・フランス両大使館を訪問

5. 参加者からの感想・意見(その1)

参加した高校生6名は、国内研修の目標として『バトンリレー～未来に届ける私たちのエネルギー～』を全体スローガンに掲げて研修に臨み、エネルギーに関して多くのことを学び、自分たちでこれからのエネルギーについて考えました。

研修終了後の3月4日には座談会を開催し、研修で印象に残ったことやエネルギーに対する考えを話し合い、以下のような感想や意見がありました。

参加者	感想・意見
斗 澤 佳 浩	三菱重工業の神戸造船所やフランス大使館を訪問し、国際熱核融合実験炉(ITER)の話聞き、まだ実用化のめどは立っていませんが、将来ITERが原子力発電に代わる新しいエネルギー源になることを期待します。
吉 村 溪 冴	再処理施設を見学し、原子燃料サイクルが実現すれば、高レベル放射性廃棄物を減らすことができると分かり、これが進んでいくことで課題解決につながっていくものと感じました。

5. 参加者からの感想・意見(その2)

参加者	感想・意見
渡 辺 萌	スウェーデンでは原子力に関する教育を学校の授業の中に導入しており、小さいころから正しい知識を学習して、一人ひとりが自分の意見を持っていると聞きました。エネルギーに関する理解を深め、エネルギーのあり方を議論する上でもエネルギー教育の重要性を実感しました。
赤 田 萌 恵	沖縄では美しい緑に囲まれた中に発電所があり、生き物との共生をイメージして、建物がデザインされているのがよく分かりました。また、小動物の保護やサンゴを守る環境保全など、自然を壊さない対策が取られていたのが驚きでした。
北 畠 聡 美	北九州市は過去の公害を克服して企業だけでなく街全体で長期にわたり、環境問題に取り組んでいるのがすばらしいと思いました。取り組みの中に電気の使用量が見えるモニターや、電気代が高くなる時間帯に自動でエアコンの温度を調節する機能があり、とても印象的でした。
横 濱 愛 莉	資源エネルギー庁では、一つのエネルギーに頼ることなく、水力、火力、原子力などのエネルギーをバランス良く組み合わせる「エネルギーミックス」について学びました。安全性、エネルギー自給率、コスト、温室効果ガス排出量など、全ての面を考慮しながら最適な発電の割合にしていくことの大切さがよく分かりました。

6. 研修スナップ(事前研修その1)

11月8日～9日 第1回事前研修会
オリエンテーション・自己紹介



東北電力(株)東通原子力発電所、
日本原燃(株)原子燃料サイクル施設を見学しました



6. 研修スナップ(事前研修その2)

1月7日～8日 第2回事前研修会

エネルギーに関するプレゼンテーションのリハーサルを実施



自主研修での課題を話し合い、自分たちで学習するテーマを考えました



7. 研修スナップ(その1)

高速増殖炉もんじゅを見学

ナトリウムの性質について実験



三菱重工業 神戸造船所を見学

国際熱核融合実験炉「ITER」の部品製造現場を見学



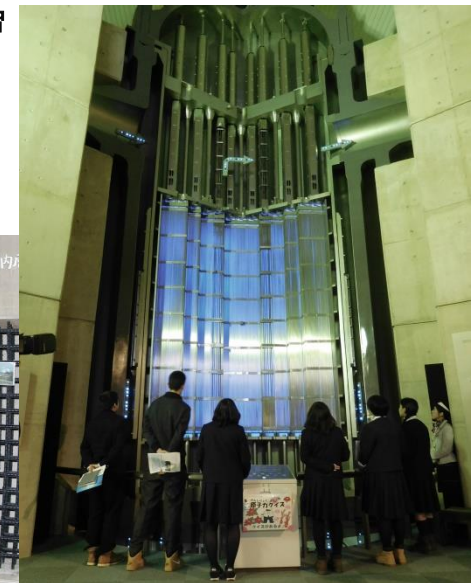
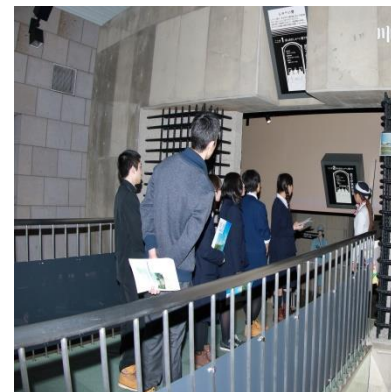
環境モデル都市北九州市で自主研修

高校生自らが研修テーマを定めて、エネルギー関連施設を見学して学習



川内原子力発電所を見学

安全対策の実施状況について学習



7. 研修スナップ(その2)

沖縄やんばる海水揚水発電所を見学

世界で初めての海水揚水発電所を見学



資源エネルギー庁と海外電力調査会で 国内および海外のエネルギー事情を学習



スウェーデン大使館を訪問



フランス大使館を訪問

